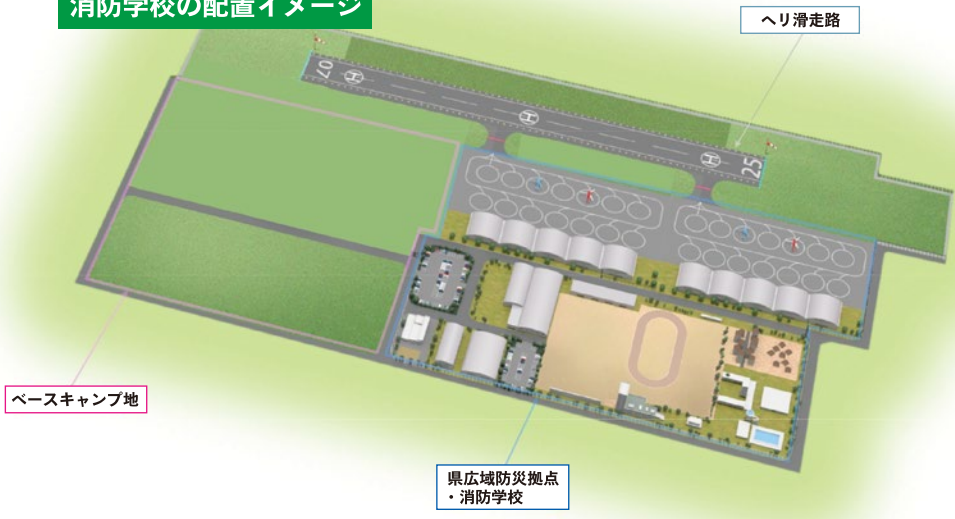


## 県広域防災拠点 消防学校の配置イメージ



(表面から続く)

新年度は、すでに包括協定の締結を終えている中心市街地地区、五條病院周辺地区、五條西地区に続き榮山寺を中心とする五條東地区について、協定の締結を進めてまいります。

### ① 中心市街地地区

シビックコアの形成による行政機関を集約した市民開放型の市役所新庁舎建設や五條新町重要伝統的建造物群活性化事業などを進めます。

### ② 五條病院周辺地区

健康増進のための交流の場の提供や、医療機関へ通うための公共交通網の充実を図ります。

### ③ 五條西地区

防災力、減災力を向上させ

せていく場として活用するため、陸上自衛隊駐屯地や県広域拠点施設の誘致活動に力を入れていきます。

### ④ 五條東地区(新)

今年で創建1300年となる榮山寺を中心とした地域の整備など、貴重な歴史資源の保全・活用を推進します。

## 県広域防災拠点

## 防災力を 確かなものへ

五條市と県が締結した「まちづくりに関する包括協定」に基づき、阪合部地区を中心とするエリアに県広域防災拠点を開設することを目指しています。紀伊半島大水害の教訓を生かし、近い将来の発生が懸念されている南海トラフ巨大地震に備え、さらに陸上自衛隊駐屯地の誘致ができれば、ヘリポートなどの整備を進めています。

五條市の防災力の強化のため、昨年11月に荒井正吾知事と共に防衛省を訪れ、陸上幕僚長と防衛事務次官と面談いたしました。五條市内への陸上自衛隊駐屯地の誘致に向けた来年度予算が計上

されるよう要望活動を行った結果、政府の31年度予算案に調査費として200万円が計上されました。これにより6年連続で調査費が計上されることになり、誘致に向けて着実な歩みを進んでいます。

現在、47都道府県中、陸上自衛隊の駐屯地がないのは奈良県のみとなっています。大規模災害で県内全体が被災した場合、最も近い京都府の大久保駐屯地からの自衛隊派遣では、道路網の寸断などで、相当の時間を要することが想定されます。

紀伊半島のほぼ中心地となる五條市は、県と共に、陸上自衛隊の駐屯地誘致を進めており、実現すれば奈良県全域に加え、和歌山、三重、大阪の後方支援としてさらなる自衛隊機能の発展性が期待できます。

近い将来の発生が予想されている南海トラフ巨大地震等の大規模震災をはじめ、防災力をたしかかなものにしていくため、今後も誘致が実現するよう県と近隣市町村と共に要望を続けてまい

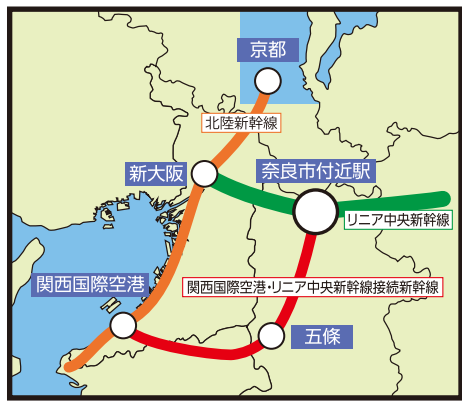
ります。

### リニア、奈良市関空ルート

## 南和への観光客を 誘導する玄関口に

奈良県が誘致を進めているリニア中央新幹線の奈良市付近の新駅と、関西国際空港を約25分で結ぶルート構想が「地図参照」が明らかになり、五條市を通り、中間駅が設置される内容になっています。

将来、リニアと空路を使われ来県される観光客が、五條市が増えることが期待されます。市としてもこの構想が実現するよう働きかけていきます。



この構想の内容は、在来線と線路幅が同じ「スーパー特急」方式を導入し、関西空港と新駅になる奈良市付近を約25分で結びます。

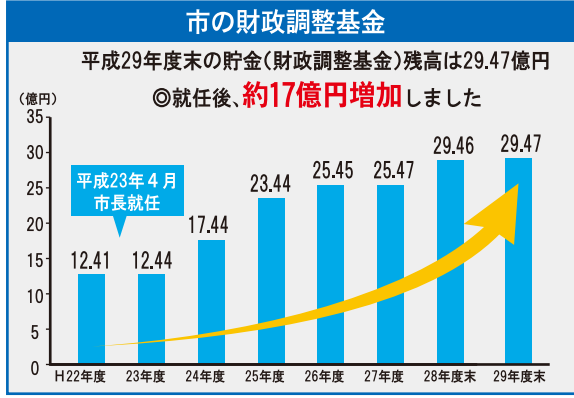
国内外から五條市への観光客増加が見込まれるだけでなく、南和への観光客を誘導する玄関口として大きな期待ができています。五條市が取り組んでいるまちづくりと一体的かつ、南和の関係市町村と共に未来のおもてなし事業を加速させていきます。

### 市基金や有利な地方債の活用

## 基金や過疎債による 未来への基盤整備

市政の大きな課題のひとつに、財政の健全化があります。平成29年度末における市の借金残高は約357億1000万円、市長就任時と比較して、約65億円減少しました。また市の貯金にあたる「財政調整基金」は、同年度末で29億4700万円を積み立て、就任前から約17億円が増加しました。

改善を見せる市の財政状況ですが、普通交付税の減少や国の補助金減少などに



より、非常に厳しいものになっていきます。さらに市の主要な財源になっている「過疎債」ですが、その根拠となる「過疎法」があと2年で期限となり、不透明さと不安要素があります。

しかしながら何もしなければ、市の基盤整備は進まず、次の世代に住みやすい環境を残すことはできません。過疎債が活用できる残された期間を大切にしながら、国や県との連携をより一層密にし、市の未来のため、そして、子や孫のため、全力で基盤整備に取り組みなど、山積する諸課題を解決したいと考えています。

### ◆コミュニティバス増便

南奈良総合医療センター通院ラインで午後4時に往復1便を増便

### ◆デマンド型乗合タクシー試験

城戸・谷の宮経由五條線の一部区間で試験的に停留所間の自由乗降を導入

### ◆明治維新150年記念事業

維新の魁となった天誅組イベントをゆかりのある県内4市町村連携で開催

### ◆第1回シダースーパーカップ柔道大会開催

全国の中・高校生の強豪64チーム計320人の参加、県との共催で実施

### ◆博物館で川村たかし氏記念展示開催

博物館のリニューアルオープンにあわせ、作家川村たかし氏(名誉市民)の著書や直筆原稿などの記念展示を開催

### ■安倍晋三首相 表敬し柿をPR



県選出の国会議員やJAならけんの中出会長や生産者の皆さん、そして「奈良の柿レディ」とともに安倍晋三首相を表敬し、奈良の柿をPRしてきました。

### ■天忠組シンポジウム in 奈良



「明治維新の魁」といわれる明治維新150年、天忠組義挙155年を迎える記念すべき年に、天忠組のシンポジウムが東大寺 金鐘ホールで開催され、その中で首長会談をさせていただきました。

### ■小さなサンタが訪問



今年も6人のサンタさん(五條幼稚園の園児)が市役所を訪問、サンタさんたちの手作りクリスマスツリーなど、プレゼントをいただきました。

